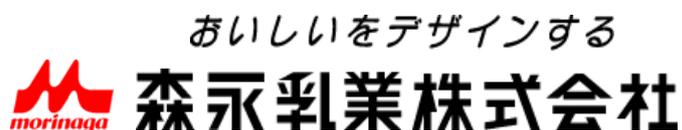


平成20年3月期
中間決算説明資料
(平成19年4月～平成19年9月)



平成19年11月
証券コード：2264

当資料の構成

- I 平成20年3月期中間決算の概況
- II 単体決算関連
 - (1) 要約損益計算書
 - (2) 要約貸借対照表
 - (3) その他
- III 連結決算関連
 - (1) 要約連結損益計算書
 - (2) 要約連結貸借対照表
 - (3) 要約連結キャッシュ・フロー計算書
 - (4) その他

※ 当資料の表示等に関する注記

- ① 当中間期…平成19年9月期、前中間期…平成18年9月期、前期…平成19年3月期
- ② 金額の表示単位…表示単位未満切捨て
- ③ 前同差、前同比…それぞれ対前年中間増減額、増減率を示す

I 平成20年3月期中間決算の概況

損益計算書

(単位：百万円、%)

	単 体			連 結			連単倍率	
	当中間期	前 同 比	前 同 比	当中間期	前 同 比	前 同 比	当中間期	前中間期
	売上比			売上比				
売 上 高	239,390	100.0	+3.8	315,010	100.0	+2.9	1.32	1.33
営 業 利 益	3,488	1.5	△25.1	8,310	2.6	△7.1	2.38	1.92
経 常 利 益	5,208	2.2	△21.5	8,299	2.6	△17.8	1.59	1.52
中 間 純 利 益	1,501	0.6	△58.2	3,452	1.1	△10.5	2.30	1.07

貸借対照表

(単位：百万円、%)

	単 体			連 結			連単倍率	
	当中間期	前 同 比	前 同 比	当中間期	前 同 比	前 同 比	当中間期	前中間期
	構成比			構成比				
総 資 産	298,717	100.0	+2.7	378,550	100.0	+6.0	1.27	1.23
負 債	226,294	75.8	+5.3	277,359	73.3	+9.0	1.23	1.18
純 資 産	72,423	24.2	△4.5	101,190	26.7	△1.5	1.40	1.35

連結の範囲等

	当中間期	前中間期
連結子会社	31社	30社
持分法適用非連結子会社	4社	5社
持分法適用関連会社	—	—

II 単体決算関連

(1) 要約中間損益計算書

(単位：百万円、%)

	当中間期	売上比	前中間期	売上比	前同差	前同比	説明	前 期
売上高	239,390	100.0	230,697	100.0	8,692	+3.8	①	440,001
売上原価	177,195	74.0	170,238	73.8	6,957	+4.1		326,651
売上総利益	62,194	26.0	60,459	26.2	1,735	+2.9	②	113,350
販売費及び一般管理費	58,706	24.5	55,801	24.2	2,904	+5.2	③	108,397
営業利益	3,488	1.5	4,657	2.0	△1,169	△25.1		4,952
営業外収益	2,732	1.1	2,820	1.2	△87	△3.1	④	4,266
営業外費用	1,012	0.4	839	0.4	172	+20.6	④	1,617
経常利益	5,208	2.2	6,637	2.9	△1,429	△21.5		7,601
特別利益	426	0.2	1,083	0.5	△656	△60.7	⑤	2,458
特別損失	1,960	0.8	1,328	0.6	631	+47.5	⑤	3,883
税引前中間(当期)純利益	3,674	1.5	6,392	2.8	△2,718	△42.5		6,176
法人税等	2,172	0.9	2,801	1.2	△628	△22.4		1,937
法人税等調整額	—	—	—	—	—	—		1,218
中間(当期)純利益	1,501	0.6	3,591	1.6	△2,089	△58.2		3,021

①売上高の状況

(単位：百万円、%)

製品分類	金 額				数 量		金 額		
	当中間期	構成比	前中間期	構成比	前同差	前同比	当中間期	前 期	
市 乳 計	109,647	45.8	105,319	45.6	4,327	+4.1	486,738	+3.4	205,493
牛乳類	37,177		39,011		△1,834	△4.7	224,942	△4.1	75,040
乳飲料等	37,112		30,217		6,894	+22.8	168,258	+19.0	59,298
ヨーグルト	26,685		27,523		△838	△3.0	76,252	△2.0	52,838
プリン等	8,672		8,567		105	+1.2	17,285	+2.5	18,316
乳製品計	45,471	19.0	45,973	19.9	△502	△1.1	51,174	△1.8	93,224
練 乳	2,136		2,207		△71	△3.2	4,800	△4.1	4,585
粉 乳	20,707		21,295		△588	△2.8	20,713	△2.1	42,691
バ タ ー	5,654		5,961		△307	△5.2	5,878	△6.9	11,690
チ ー ズ	16,973		16,508		464	+2.8	19,781	+0.9	34,257
アイスクリーム	31,329	13.1	28,280	12.3	3,048	+10.8	69,569	+20.0	44,356
その他計	52,942	22.1	51,123	22.2	1,818	+3.6			96,926
飲 料	21,305		19,944		1,361	+6.8	154,394	+8.9	34,815
その他	31,636		31,179		456	+1.5			62,111
合 計	239,390	100.0	230,697	100.0	8,692	+3.8			440,001

(注) 数量の単位は、乳製品はt o n、市乳、アイスクリームはk lで表示
その他計中のその他には、ゼリー、クリーム類などが含まれる

主な増減要因

市乳計

牛乳類・・・「森永のおいしい牛乳」シリーズは前年を上回ったものの、全体では前年を下回りました。
乳飲料類・・・カップ飲料の「マウントレーニア」シリーズに「カフェラッテ プレミア」が加わり、
売上を拡大するとともに、「リプトンミルクティー」も好調に推移して、乳飲料
全体では大きく前年を上回りました。
ヨーグルト・・・主力の「アロエヨーグルト」は「赤いアロエヨーグルト」の発売もあり前年を上回
ったものの、プレーンヨーグルトやその他のフルーツヨーグルトが前年を下回り、
全体では減収となりました。
プリン等・・・主力商品である「焼きプリン」に加え、「プティボとろふわプリン」シリーズが好調
に推移したことにより、全体でも前年を上回りました。

乳製品計

練乳・・・家庭用は前年を上回ったものの、業務用が前年を下回り、全体では減収となりました。
粉乳・・・家庭用のスキムミルク、「クリープ」は苦戦いたしました。
調製粉乳は、「森永ペプチドミルクE赤ちゃん」や「森永フォローアップミルクチルミル」
の拡売により前年並みの水準を確保しました。
チーズ・・・「スライスチーズ」「切れてるチーズ」「パルメザンチーズ」などが前年を上回り、
全体でも前年を上回りました。

アイスクリーム・・・「MOW(モウ)」「チェリオ」などが好調に推移し、全体でも前年を大幅に上回
りました。

その他計

飲料・・・リプトンフルーツティーやサンキストジュースが好調に推移し全体でも前年を上回りました。
その他・・・ゼリー類や流動食が好調に推移し全体でも前年を上回りました。

②売上総利益

売上数量増効果やプロダクトミックスの改善効果などはあったものの、原材料価格の上昇や製造経費の増加などにより、売上総利益率は26.0%と前同に比べ0.2%悪化した。

③販売費及び一般管理費の状況

(単位：百万円、%)

主要な項目	当中間期		前中間期		前同差	前同比	前期
		構成比		構成比			
拡売費・広告宣伝費	31,211	53.1	29,300	52.5	1,910	+6.5	56,788
運送費・保管料	10,902	18.6	9,833	17.6	1,068	+10.9	19,125
従業員給料・賞与	7,455	12.7	7,416	13.3	39	+0.5	14,345
福利厚生費	1,107	1.9	1,101	2.0	5	+0.5	2,237
その他	8,029	13.7	8,149	14.6	△119	△1.5	15,900
合計	58,706	100.0	55,801	100.0	2,904	+5.2	108,397

主な増減要因

- ・拡売費、運送費・保管料の増加は主として売上が増加したことによるもの。

④営業外損益の状況

(単位：百万円、%)

営業外損益	当中間期		前中間期		前同差	前同比	前期
		売上比		売上比			
営業外収益	2,732	1.1	2,820	1.2	△87	△3.1	4,266
受取利息及び配当金	2,079	0.9	2,022	0.9	56	+2.8	2,807
雑収益	653	0.3	797	0.3	△144	△18.1	1,458
営業外費用	1,012	0.4	839	0.4	172	+20.6	1,617
支払利息	720	0.3	641	0.3	79	+12.4	1,295
雑損失	292	0.1	198	0.1	93	+47.0	322

主な増減要因

- ・金融収支は支払利息の増加などもあり悪化。

⑤特別損益の状況

(単位：百万円、%)

特別損益	当中間期		前中間期		前同差	前同比	前期
		売上比		売上比			
特別利益	426	0.2	1,083	0.5	△656	△60.7	2,458
固定資産売却益	250	0.1	9	0.0	240	-	162
投資有価証券売却益	176	0.1	65	0.0	110	+168.9	1,296
事業移転利益	-	-	1,000	0.4	△1,000	-	1,000
その他の特別利益	-	-	8	0.0	△8	-	-
特別損失	1,960	0.8	1,328	0.6	631	+47.5	3,883
(財)ひかり協会負担金	841	0.4	853	0.4	△12	△1.4	1,693
貸倒引当金繰入額	472	0.2	-	-	472	-	-
投資有価証券減損処理額等	441	0.2	67	0.0	373	+550.1	1,184
たな卸資産評価損等	-	-	137	0.1	△137	-	208
減損損失	-	-	125	0.1	△125	-	125
関係会社整理損	-	-	144	0.1	△144	-	143
その他の特別損失	205	0.1	-	-	205	-	528

主な増減要因等

- ・前中間期の事業移転利益は森永酪農販売(株)への酪農飼料販売部門の移管によるもの。

(2) 要約中間貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期	前同差	説明	前期
流動資産	117,269	114,257	3,011		103,352
現金預金	6,814	6,715	99		2,508
売上債権	68,790	67,197	1,593	①	58,738
たな卸資産	23,160	20,663	2,497	②	23,287
その他	18,503	19,681	△1,178		18,818
固定資産	181,448	176,574	4,873		179,946
有形固定資産	133,474	126,567	6,906	③	132,735
無形固定資産	2,718	2,743	△24		2,709
投資その他	45,255	47,263	△2,008	④	44,500
資産計	298,717	290,832	7,885		283,298
	当中間期	前中間期	前同差	説明	前期
流動負債	139,848	143,399	△3,551		137,695
手形・買掛金	59,036	55,565	3,470	⑤	50,872
短期借入金	4,650	9,502	△4,851	⑥	3,050
コマニヤル・ペーパー	6,000	-	6,000	⑥	6,000
一年内償還社債	-	15,000	△15,000	⑥	15,000
その他	70,161	63,332	6,829	⑦	62,772
固定負債	86,445	71,581	14,864		71,586
社債	60,000	45,000	15,000	⑥	45,000
長期借入金	17,912	17,763	149	⑥	17,905
その他	8,533	8,818	△285		8,680
負債計	226,294	214,981	11,312		209,281
純資産計	72,423	75,850	△3,426		74,016
負債・純資産計	298,717	290,832	7,885		283,298

主要項目の内容および増減要因

	前同差	主な要因
① 売上債権	1,593	主として売上高の増加による。
② たな卸資産	2,497	主として脱脂粉乳・バター在庫が増加したことによる。
③ 有形固定資産	6,906	設備投資 21,057 減価償却費 △13,098 売却減失等 △1,053 神戸工場関連設備の増加などによる。
④ 投資その他	△2,008	主として投資有価証券の時価下落による。
⑤ 手形・買掛金	3,470	売上高の増加に伴う仕入原料の増加や価格上昇などによる。
⑥ 借入金・社債	1,297	
⑦ その他	6,829	関係会社からの預り金の増加などによる。

(3) その他

①設備投資および減価償却費の推移

(単位：億円)

	設備投資額			減価償却費
	実績 (前年差)	うち生産設備 実績 (前年差)	うち販売設備 実績 (前年差)	実績 (前年差)
平成16年3月期	133 (△11)	105 (△5)	28 (△6)	122 (6)
平成17年3月期	118 (△15)	92 (△13)	26 (△2)	117 (△5)
平成18年3月期	251 (133)	226 (134)	25 (△1)	116 (△1)
平成19年3月期	262 (11)	241 (15)	21 (△4)	123 (7)
平成20年3月期見込	215 (△47)	190 (△51)	25 (4)	134 (11)
平成19年3月中間期	125 (65)	114 (69)	11 (△3)	56 (1)
平成20年3月中間期	73 (△52)	62 (△52)	11 (0)	64 (8)

②従業員数の推移

	9月末 実績 (前年差)	3月末 実績 (前年差)
平成16年3月期	3,433名 (△71名)	3,257名 (△95名)
平成17年3月期	3,382名 (△51名)	3,092名 (△165名)
平成18年3月期	3,184名 (△198名)	3,087名 (△5名)
平成19年3月期	3,165名 (△19名)	3,036名 (△51名)
平成20年3月期	3,159名 (△6名)	

注) 平成17年3月期の3月末より、出向者等を除く就業人員数で表示している。
 なお、平成17年3月期3月末の出向者は181名、平成18年3月期9月末の出向者は188名。

③集乳量の推移

(単位：千トン)

	集乳量		
	実績 (前年差)	うち北海道 実績 (前年差)	うち都府県 実績 (前年差)
平成16年3月期	820 (3)	449 (26)	371 (△23)
平成17年3月期	818 (△2)	460 (11)	358 (△13)
平成18年3月期	780 (△38)	475 (15)	305 (△53)
平成19年3月期	811 (31)	467 (△8)	344 (39)
平成20年3月期見込	821 (10)	483 (16)	338 (△6)
平成19年3月中間期	399 (14)	229 (0)	169 (13)
平成20年3月中間期	395 (△4)	236 (7)	159 (△10)

注) 上記①②③の前年差は、それぞれ前年同期との差を示している。

Ⅲ 連結決算関連

(1) 要約中間連結損益計算書

(単位：百万円、%)

	当中間期	売上比	前中間期	売上比	前同差	前同比	説明	前 期
売上高	315,010	100.0	306,080	100.0	8,930	+2.9	①	578,257
売上原価	220,779	70.1	214,771	70.2	6,007	+2.8		407,275
売上総利益	94,230	29.9	91,308	29.8	2,922	+3.2	②	170,981
販売費及び一般管理費	85,920	27.3	82,359	26.9	3,561	+4.3	③	160,358
営業利益	8,310	2.6	8,949	2.9	△638	△7.1		10,623
営業外収益	1,160	0.4	2,107	0.7	△947	△44.9	④	3,739
営業外費用	1,172	0.4	956	0.3	215	+22.5	④	1,827
経常利益	8,299	2.6	10,099	3.3	△1,800	△17.8		12,535
特別利益	650	0.2	154	0.1	496	+322.1	⑤	2,596
特別損失	1,496	0.5	2,503	0.8	△1,006	△40.2	⑤	4,916
税金等調整前中間(当期)純利益	7,452	2.4	7,750	2.5	△298	△3.8		10,215
法人税等	3,928	1.2	3,814	1.2	114	+3.0		4,087
法人税等調整額	—	—	—	—	—	—		620
少数株主利益	71	0.0	78	0.0	△7	△9.2		176
中間(当期)純利益	3,452	1.1	3,857	1.3	△404	△10.5		5,329

①売上高の状況

(単位：百万円、%)

連結事業セグメント	当中間期	構成比	前中間期	構成比	前同差	前同比	前期
1) 食品事業	302,846	96.1	292,750	95.6	10,095	+3.4	554,478
2) その他事業	17,482	5.5	18,564	6.1	△1,081	△5.8	35,185
消去又は全社	△5,318	△1.6	△5,234	△1.7	△83	—	△11,407
合 計	315,010	100.0	306,080	100.0	8,930	+2.9	578,257

「その他事業」には、プラント設備の設計施工、飼料、不動産の賃貸、運輸倉庫業等が含まれる。

食品事業

単体と販売会社の売上が好調に推移し、前同を上回った。

その他事業

プラント設備の設計施工部門が前年好調の反動で落ち込んだことにより、前同を下回った。

②売上総利益

原材料価格上昇等の影響を受けたが、売上高増と新規連結子会社の影響により前同比3.2%増(+2,922百万円)となった。

③販売費及び一般管理費の状況

(単位：百万円、%)

	当中間期		前中間期		前同差	前同比	前 期
		構成比		構成比			
主要な項目 (販売費)							
拡売費	34,925	40.6	33,078	40.2	1,847	+5.6	64,476
運送費・保管料	24,526	28.5	23,403	28.4	1,122	+4.8	44,693
従業員給料・賞与	6,472	7.5	6,116	7.4	355	+5.8	11,954
(一般管理費)							
従業員給料・賞与	4,386	5.1	4,651	5.6	△265	△5.7	8,930
その他	15,610	18.3	15,109	18.4	501	+3.3	30,303
合計	85,920	100.0	82,359	100.0	3,561	+4.3	160,358

主な増減要因

- ・販売費の増加は売上高増に伴うものの他、一部子会社において販売費と一般管理費の計上区分変更した結果、一般管理費から販売費への振替があったことによる。

④営業外損益の状況

(単位：百万円、%)

	当中間期		前中間期		前同差	前同比	前 期
		売上比		売上比			
営業外収益	1,160	0.4	2,107	0.7	△947	△44.9	3,739
受取利息及び配当金	415	0.1	1,226	0.4	△810	△66.1	2,037
持分法による投資利益	83	0.0	106	0.0	△22	△20.9	152
その他の営業外収益	660	0.2	775	0.3	△114	△14.7	1,550
営業外費用	1,172	0.4	956	0.3	215	+22.5	1,827
支払利息	859	0.3	739	0.2	120	+16.3	1,479
その他の営業外費用	312	0.1	217	0.1	94	+43.4	348

⑤特別損益の状況

(単位：百万円、%)

	当中間期		前中間期		前同差	前同比	前 期
		売上比		売上比			
特別利益	650	0.2	154	0.1	496	+322.1	2,596
固定資産売却益	451	0.1	63	0.0	388	+613.5	1,264
投資有価証券売却益	177	0.1	67	0.0	110	+164.0	1,299
その他の特別利益	21	0.0	23	0.0	△2	△9.4	32
特別損失	1,496	0.5	2,503	0.8	△1,006	△40.2	4,916
固定資産処分損	292	0.1	1,137	0.4	△844	△74.3	1,863
(財)ひかり協会負担金	841	0.3	853	0.3	△12	△1.4	1,693
貸倒引当金繰入額	295	0.1	-	0.0	295	-	-
投資有価証券減損処理額等	41	0.0	-	0.0	41	-	622
たな卸資産評価損等	-	0.0	137	0.0	△137	-	208
減損損失	-	0.0	161	0.1	△161	-	161
その他の特別損失	26	0.0	214	0.1	△187	△87.7	367

主な増減要因等

- ・固定資産売却益は主として土地の売却によるものである。
- ・固定資産処分損は、前年に製造販売を終了した子会社2社の設備の処分損が計上されていたことなどにより減少。

(2) 要約中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期	前同差	説明	前期
流動資産	136,566	130,418	6,148		114,227
現金預金	12,646	9,597	3,049	①	4,034
売上債権	82,163	82,497	△334		70,749
たな卸資産	30,786	27,583	3,202	②	30,144
その他	10,969	10,739	229		9,298
固定資産	241,984	226,709	15,274		228,745
有形固定資産	208,270	175,482	32,787	③	180,855
無形固定資産	3,663	3,594	69		3,555
投資その他	30,049	47,632	△17,582	④	44,335
資産計	378,550	357,127	21,422		342,972

	当中間期	前中間期	前同差	説明	前期
流動負債	156,121	159,581	△3,460		148,127
手形・買掛金	80,804	74,683	6,121	⑤	65,880
短期借入金	11,842	15,827	△3,984	⑥	10,026
コマーシャル・ペーパー	6,000	-	6,000	⑥	6,000
一年内償還社債	500	15,000	△14,500	⑥	15,000
その他	56,974	54,071	2,903	⑦	51,220
固定負債	121,238	94,829	26,408		93,038
社債	70,850	45,000	25,850	⑥	45,000
長期借入金	28,431	27,237	1,193	⑥	25,779
その他	21,957	22,591	△634		22,258
負債計	277,359	254,411	22,948		241,166
純資産計	101,190	102,716	△1,525	⑧	101,806
負債・純資産計	378,550	357,127	21,422		342,972

主要項目の内容および増減要因

	前同差	主な要因
① 現金預金	3,049	新規連結子会社分の現金預金が増加したことなどによる。
② たな卸資産	3,202	単体において脱粉、バター等を2、3か月分を在庫として確保したことによる増加。
③ 有形固定資産	32,787	設備投資28,265百万円 減価償却費△17,320百万円 売却減失等△1,935百万円 新規連結23,777百万円 設備投資は主として単体の神戸工場や子会社の新工場など。
④ 投資その他	△17,582	子会社新規連結に関連して単体の匿名組合出資金等が連結消去されたことによる減少。
⑤ 手形・買掛金	6,121	売上増に伴う仕入商品の増加や資材価格上昇の影響などによる。
⑥ 借入金・社債等	14,558	新規連結子会社の社債が増加したことなどによる。
⑦ その他	2,903	子会社の設備未払金の増加等による。
⑧ 純資産計	△1,525	主として投資有価証券の時価下落によるその他有価証券評価差額金の減少のため。

(3) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期	前同差	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,886	21,499	△1,613	27,832
税金等調整前中間(当期)純利益	7,452	7,750	△298	10,215
減価償却費	8,678	7,945	733	16,672
減損損失	-	161	△161	161
固定資産売却益	△451	△63	△388	△1,264
固定資産処分損	292	1,137	△844	1,863
売上債権の増減額(増加：△)	△11,185	△18,270	7,085	△6,516
たな卸資産の増減額(増加：△)	△392	4,635	△5,028	2,087
仕入債務・未払費用の増減額(減少：△)	17,602	18,022	△420	6,988
法人税等の支払額	△2,392	△734	△1,657	△2,316
その他	281	915	△633	△58
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,084	△24,933	7,848	△35,390
有形固定資産購入額	△15,369	△24,032	8,662	△38,554
有形固定資産売却額	620	1,125	△504	2,931
投資有価証券の取得	△2,747	△1,508	△1,238	△1,646
その他	411	△517	929	1,879
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,220	1,201	1,019	△166
長期債務の増減額(減少：△)	2,261	2,955	△693	1,917
短期債務の増減額(減少：△)	1,526	△199	1,725	△489
配当金の支払額	△1,518	△1,519	0	△1,519
その他	△49	△35	△13	△75
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	1	9	8
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	5,033	△2,230	7,263	△7,716
現金及び現金同等物の期首残高	3,759	11,268	△7,508	11,268
連結子会社増加に伴う期首残高増加額	3,679	151	3,527	151
連結子会社減少に伴う期首残高減少額	△10	-	△10	-
連結子会社合併に伴う期首残高増加額	-	55	△55	55
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	12,461	9,245	3,216	3,759
借入金・社債残高	117,623	103,065	14,558	101,806
フリーキャッシュ・フロー	2,801	△3,433	6,234	△7,557

当中間期は、法人税等の支払額が増加したことなどから営業キャッシュ・フローは減少したものの、神戸工場建設に伴う設備投資が一段落したことなどから投資活動によるキャッシュ・フローでの支出が減少したことで、フリーキャッシュ・フローは前年同期より62億円増加し、28億円となった。

(4) その他

① 設備投資および減価償却費の推移

(単位：億円)

	設備投資額		減価償却費	
	実績	(前年差)	実績	(前年差)
平成17年3月期	186	(2)	163	(△7)
平成18年3月期	284	(98)	165	(2)
平成19年3月期	290	(6)	165	(0)
平成20年3月期(見込)	290	(0)	183	(18)
平成19年3月期中間期	135	(62)	79	(△0)
平成20年3月期中間期	127	(△8)	86	(7)

② 従業員数の推移

	9月末		3月末	
	実績	(前年差)	実績	(前年差)
平成16年3月期	6,445名	(△17名)	6,261名	(△162名)
平成17年3月期	6,390名	(△55名)	6,195名	(△66名)
平成18年3月期	5,966名	(△424名)	5,815名	(△380名)
平成19年3月期	5,896名	(△70名)	5,718名	(△97名)
平成20年3月期	5,979名	(83名)		